期止。然而に大風動は云る七日水野

以電話」海軍昭和十一年度記

海軍大將 高橋

二吉 刷 子解 加藤 隆義

補艦政本部長

補駐滿海軍部司令官

兼將三西藏人

鄭

相原有工職隊司令官 相原五職隊司令官 和原長 同 小林宗之助

日内命發せら

尚德 補吳鎭守府司令長官 海流文官兼將官道藏令員 局 長谷川 淸

補第三艦隊司令長官

第三艦隊司令長官

及川古志鄓

相無獨 安港部司令官 犯 職職司令官

敬太郎

補第一航空職條司令官

無技術資料を見

日正式に翻吹されるが今次の大

日命を避した、十二月

一致扱い主なるものはなの如し

補軍事参議官 (※無)

補佐世保銀守府司令長 和佐世保銀守府司令員 鄭澤 幸一

新第一艦隊司令長官 補聯合艦隊司令長官

補第二艦隊司令長官

二郎

日 納第十一職職司令官 第一水雷職職司令官 開 開交 開係入職隊司令官 安世保護守持委託長 同 高水

海軍中將 米內

補橫須賀鎭守府司令長

は未だ公電なく耐役の事情が分 しないが、外務當局は知何なる 然緊事性に関し十一日夜外務省 朱京宝譜] 交上海に実施したが

い際、かくる事性の可能に重要

第によっては月上館指置に出

開し海車省には米だ公司はな

る不安を興へつゝあるは、従来の

交画機の上に随る遺憾であるとし

より容易に遊脱を見ざる際南國々」としてふる、而して競弾す

て事態の成行を極めて重視し詳細

一種論場面しついあり外務當局の

事他に對する責任協置が未だ決せ

す、日文交渉も支那闘の不誠箴に一門明を定つて何分の賛求を講せん一度は順る強硬である

犯人は支那作業服を

着に痩せた青年

海外

兩當局は强硬

日排の那支き

(上海十一日同盟) 十一日午後八時四十五分日下落地総設中の貯敷室路では重に五常線を渡つて厳酷中である。(上海十一日同盟) 十一日午後八時四十五分日下落地総設中の貯敷室的であるには消、直に確成病院に落き込まれたが午後几時が原理に於て一支部人のため業就を以て邪寒され、左側部に門通鑑池を受けるの幕に接げ、直に確成病院に落き込まれたが午後几時の形象が路を不道研修部態以及野熊生れ高層気持攻(こ)が上陸後、斉閣高

海十一日周盟一文も形人後常軍作統裁に我都留事的繁奏では極度に毀毀し、工部局無熱と連絡して現底的近に軍治総を吸り

陸戦隊出動し嚴戒 無理難際は直もに多用哲學証用師の下に除頭を現底的近に緊迫し

·我にพん厳密中、崩立一章は日下厳重なる奪感が励へられてゐる、砌に蔑惑薄高塑料は版難長至鬃形が久間買え拜が与れて敵主が扇民病院に運び于當を加へたが、午後九時途に避命した、、豐麗紫言智麗は重もに現真に急日徹認を行中、 背後から迫つた廿一歳位の支那人に 拳銃で狙撃され 左胸部に 貫通銃創を受け直ち船笠置丸乘組機關部 倉庫班高 瀨安治氏(四)は十一日午後八時四十五分 揚樹浦桃源里路を船笠置丸乘組機關部倉庫班高瀨安治氏(四)は十一日午後八時四十五分 揚樹浦桃源里路を

又も上海で狙撃さる

左胸部に貫通銃創を受けて遂に絶命

犯人は支那青年

呈特派員發電上海十一日赤

一番地が十一日正午過ぎ上海に入社 信開爾路標準萬里七七號日本料理(總監、上院總監神等と共に午後十七七ので、午後六時韓田迎に採た「島質察著長等は工部局護察田島制 狙擊事件後報 上海十 日同盟)高潮安石氏は彩組の記 | 黒殿から出て来た支那人のため都(加撃事件)後報 【上海十一般第里の人口にさし無つた際実如

日本工等長い電球

り、職物で銀行資金の郵便貯金に移 「東京正面」今回の音楽は銀行

げ延びて来たが、それでも二三丁

い急病で、七部八倒の苦しみ。…い急病で、七部八倒の苦しみ。…

薬を買ひに行くと

ろでござんす

「なに、薬を買ひにこ

省から青森

術務省の誰彼をつかまへ

何んて間扱い

い、あたしが直 ンやアー頭も遊

の態度に出て何等交渉は辿 見込みがつ

一般を行ふことになつた。更に詳細様 【上海十一日同盟】上海特別短頭 れた軍事団織の結果對日時前陣に 杭州、西安、洛陽等各地で興催をある。配して支那側の歴度効便に 態度が軟化したとの収遣に基く完成しついあること能に日本健

| 神社上海支店及び認識事績等死心能に定げし、十二日早報

拳銃ピケース發見

[上海十一日同盟] 高層氏疫热事 正統一権が開発された、日下之を 部局順山蟹祭署に送つて指紋槍

◇生田道三郎氏(多師局盤道社長) 以 → 一三日午後一時截正原道 対域を、(中脳院参議)十一日府 内明倫町一丁目四五ノ三號へ移 内明倫町一丁目四五ノ三號へ移

天地玄黃 THE CA所屬記問工機廠 が)十二日接受の爲來社 内操氏(本所屬記問工機廠

「頭手類行だ、質疑だ、不言 お互び解系その通 思つたから、用に事寄せて出て米 するこかアありやずめえるあつし 「そんならあすこにおいでだつた やアお削さんが、さりき定言足イ ~はッはッは。そんなにびつくり

たんで、ともかく一度配らうと良 たんだが、もつとばかり気になつ 謎を取出すと、あわてゝ男の手へ おころは帝の間からいくらかの 飛びに飛んで行 : ---

また!~上海で那人選集、不

てさらだ。この間にちつとも強く に削の凝了へと飛り組してから、お ら、おころは任

朝する風勢品だしく、最近副院利 趣信省と打合せをなしつつあるが 大部省ではその必然性に養み内々 一問題が喧しく無へられる折極、

奥洪兩國も承認

ノ首相ジュシュエック順士は十一「餐館を膨したが、際上ジュシュニ(ウイン十一日周重」オーストリ「カンヤ氏を指替し縁大なる繁雄戦」 - 外科チアノ氏、ハンガリー外相 ピヤ皇帝エマヌエル三世第八十九 四の歴生を続して杯を挙げ、オー ツク腹土はイタリー関脈にエチオ チョピア領國併合を承認すること ストリア政府はイタリー政府のエ

月夜シエンブルンの古城にイタリ

樞府に御諮詢 外交重大問題

を推治院に御路職を請の手割きを一出述べた。 【東京電話】政府は外交宣大陸巡

名養のまま表片を開けたポムニイ さん(単)に、北根を傷へると問念と 日を難した技女説明高等小學校二してその場に並き伏し、その際に

人あり、原地は長野縣北佐久郎蘭

檢視の結果等続を以て背後から狙 党された高潮安治氏は前民族院で 病院に安置に安置 とほたのいこ目もいたまして似子

日間 20 段

【上海十一日流星精派負債】破害。者と行動を共にしてゐた精彩の女。中河郡ニサ子さん(ま)は誰る

同行者が當時の狀況を語る

左肩下から第五第六肋骨の間を確 繋されたことが慣明した、 帰丸は 我方の 提案を

キャムベラに到着題もにガレット 楽題目候談にこと並目間を慰する名が総領事は新報節事間だ十一日 である、ガレット通商経験相は優 ・・ 電船域府の銀売に築んだ、かくて とうなつてゐたところ、日産遺園の検験和は有異数を提けて直もに 目より説質の結論に上程されるこ 通關條約相と簡別して日本朝虔毅。ものと紀込んでふるか、一方來年 商気作はいよく 内谷につき説明した、ガレット通一五月より復施される新聞館は十一 「キャムベラナー日同盟」 日深通 濠洲閣議に附議 院開り権害り、一ものと興待を超めるに行うた核協 商交渉はいよし、近く解決を見る 交渉の既行きに権み討論は暫く延

がこの結果議論政府部份は日常通 期されることしなつた

越張會談

依然展開困難の模様

越大使から外務省への報告

【東京電話】十日の川越密性の館「誰るが如き態度を示し、日支交渉」

り、又交渉富事者を舌境に陥れあるも一部に於ては強硬論もあ

次手にすべての秘密主義も歴史
對支秘部外交艦畷巡言は宜し

郵貯利下げに對する

と欲而酸に拒否、続名連絡、驅跳派に入つたが北支原規兩問題は急

のエチオピア併合

き合せた 流場男が、まさかあたしに、あんな 一大それた異似をしようとは、殿つ一して見ても、どうに つたのだらら。あいつが、あの書」あたしと定言つあんと二人切り。 「あ」、何んといふだ。いところだ」なでこざんせらが、

水を放ませたり、 背をさすった

も殿の見えな

であい。お明さんでもみておくん なすつたら、直ぐに

定兄イが急病

あの躓い家に 薬も間に合つ

だか小艦でよかつた。あんな男に「して、薬を買ひに行くところでごだかったかったのに。……でも大」しところから、ごと思びに飛び出

たに速いか知れませれら 言が付いた。女の是より男の方が で ちゃアこれからおいらが薬屋! F----**アいるところへ** 男の方が、どん

やア肝質の、薬を買ふ食の符合せ 緩ならあたしがちやんと用意して 、困つたことに 及びませぬ。お おくんなさい。日 大力 とのこれで、うてをおくじり下音さ と前く信け海々込んでケロリ流れてよびり削くのもある。果くて堤 て非様が萌々すらからぬ女にも人 が一般の際になると事態の選び方は 結束を持ち込まないりセトン郷が あつて登勘を助かる。 端下の映明 カベナケ戦い あつて登勘を助かる。 端下の映明 カベナケ戦い かんさんでケロリ流れ 郷 北 郷 に 郷 へ 桜 ら ぬ 坐 敷 で高る郷人は絵理動からら。

用住院笔大帝加





130

帯下の下りる季節· 婦人に害のある

作

世繪

ツンと鼻を衝く子宮に御注意

腹や腕の癖なとさより歯敷があっ間に手早く治せ高いで危殿に盛りはない、吹ろ下人妻は夫の知らぬるベタつく並の死い帯下のときは虚女は秘かに温い酸症は充蔵するから股の帰れ虚女は秘かに い際です真に際法な輸入は優化の い婦人の置は出る電子を防ぎ、子い際です真に際法な輸入は優化の い婦人の置は出る電子を防ぎ、子、感味がかつたぼへない配色、原の 壁がある、縦線出来の単甲変のないと云へる。月経の酸 便にも入るし、麒麟に入つて歌の ければ主宮病は心配でない上郷して各職の鑑置は音を眠つて るのは帯しい。明心更の手當がよたに子宮の能蔵で殺力が纏り歌き は絶よないしな迷の孫隊を開られた正子宮の能蔵で致力が纏り歌き は絶しみを上頭して生涯日夢下 を置く臭味があり健康の様より指 かく気はよく鼻せたら寒なべきなある白量下の前腹で大抵アンと鼻 宮の島に潜をとられない四六種温 らないかる解る。急に量は強えな上の健康能です。一步手當を譲る

て韓州くときは子宮は帰れてゐる 重症でも一日 専門子宮藥の發明 一回氣樂に濟 輕症の治療は t

崇る帶下の根を絶つ に薬を政治せ治びる様に飲く集ると果れ年ら昨年の拠しても許しむ治園はよくよ 二 日 に 一 回

に対す数く全を意識を借らし、

歌を取んで着いぬとある新聞を開き のこので配前と云ふのは書つた言
「概の世界に同様されて直で與った の話ので配前と云ふのは書つた言
「概の世界に同様されて直で與った で対す数く全を意識を借らし、

歌の世界に同様されて直で與った で対す数くとを意識を借らし、

歌の世界に同様されて直で與った で対す数とことが、

北京では、

では、

で 福川褐美 んであて不明版に觸れた、

のが拒絶、蒙下と膀胱の縮みに交があると思ひましたは難しく聴へて昨年並後に建つた。を買ふ事は丁度語くじの標本外れ

これより上等なし 完全づくめ

木 村

帶下

の坐薬に

全に出来ない、さりとて必要なら、治療は失敗して取びしつかなくな 整照でないと子宮属の音振は語

失敗は成功の因と云ふが帶下の 醫學博士

の。 使ふうセトン郷にはこの失敗を一ビれも幼くかと云ふにさらは行か。 るから怖しい。縁近處々の腐敗で

こぞ主くの要目

つて来て下さい

ņ

場外もある、常ら物には外に流れ、 度も開かない。こればかりは数は 治らぬ歌もあれば常になる者ない。 各作用態を校く上に、細入れてあ 場を坐敷に出来不出来はある。 度も開かをいっこればかりは数は になど敷に出来る者ない。 とも聞かない。こればかりは数は になど敷に出来る者ない。

九番)へ振善か、ハガキで代

突然!白晝の大火事 壽松公普校を全焼す

幸ひに書休みで生徒は無事

勅語謄本は校長が道廳へ奉遷申上ぐ

Realite Realite Marker Parite Parit が課奉安室に無事奉遷した, かくて午後二時四十分鍼疾したが、附近の家屋には何等被害はなかつた、なほ間秋は大正十

損害は約計萬圓 火廻り早く二百六十二坪全燒

月工費十六萬五千圓を投じて竣工したものである

一瞬の間に斑磁に励した(宮具は火事の現場) 「戦がり、総ちの中に二百六十二年の校舎をなめ遠した、挺 戦がり、総ちの中に二百六十二年の校舎をなめ遠した、挺 戦がの間に斑磁に励した(宮具は火事の現場)

射能離筋明朗化す

竹内氏退き近く優秀な後任を任命する

スポ

ーツ朝鮮=の發達へ

京本所社習被背課長点の

哲学から手近に見える強火を気造が広の呼吸がと同時に南部代は部 | 機能破敗野に動訴的本の 泰| はれたが、そうではないと無明した|| の観音性野に動きの表現の選択ではないかというの言葉に見える観光を記述| の始めない部の優なので、全く各州と見られてゐる、はじめ理科性伝の比別朝の過失ではないかというの言葉がと同時に推議者は認| 出海収敗について午後三時子記の調査では、武火した教諭は兵崩弾科化であつたが、全に教長化で火気の護在では、武火した教諭は兵崩弾科化であつたが、全に教長化で火気を

いちらしい光景である 別になつた要を見て泣く者もあり 兄童の安否を 氣遣つた總督

造の中で天の如く誰つた。
「我の避難差別で心配して泣く生徒」 「制度の通り生徒の點呼をやつ

小審な出火

市協調等は網路が常品等小學

村上訓導談

視察團は必ず同校へ

はどうかと模様を楽し直もに調査をはどうなつたか、中花園の安否 で成じたの野野は現場に起き副金 称解を報告した 火の氣は ない営 充實を誇り良家の子弟養育

見られる神科放室に現在は敬具 として申上行かれますまだわかりませんが設大望所と いはずです。それ例のさせんが新の質傷者もない てあるだけで 火の料りませんが幸り質傷者もない

今後の授業に三日か帰五百九十一風である

金剛丸寢台券 专业

マョネーズ

浪曲界之美聲隨一

慢性急性下痢症ニハ百發百中

人氣王來る女流浪曲の

格破大 位本衆大 料場入

塲 劇 城

主要七驛で十 六日から齊賣

水浦の七瞬で避いするが特食は式 大田、京城、平屋、安東、上门川野道剛丸の二、三等騒ぶ寮は大邱 水る十六日から観光する調節は近 等分別上長一門下一

秋晴れの行楽に 毎日のお食膳に

六十二坪、現年運動は十二百人「全館の版闡表であつた、なけ同校學校に異格したもので校会二百「家を顕続する時間となってたた役長校に異格したもので校会二百「家を顕続する時間となってたた役長で手入月十五日整然公立普通で、その他からの現事融級制は必ず同日も立業制置連接校として開致」と成の子弟を収容して誤り、四項正元年三月四日辞可、同四月一日、職員十八名である全族した誘松公立普通機校は大。十一名、職員十八名である全族した誘松公立普通機校は大。十一名、職員十八名である全族した誘松公立普通機校は大。十一名、職員十八名である

全三等(3十四周)土鸡八十野, 干姆1回

の・晩・今 ヂラ

謝

近火御見舞

淑明女子高等

通

學

屋の挑らびわの謎

當る十一

與─都々逸、米山甚句、追分其他 一月十二日²三日間午後六時開演

火の氣のない教具室

スケート。靴豫賣開始 〇日狗號競技用

馬杉追▲七時三十分心田開樂庭前資▲六時二五分(東) 柴庭前資▲六時二五分(東) 六時館訪劇(名)並の城普 離講話 井上清 ★八時長明 力分型醫松問旭康會八時

大門別保安保では最近官内の映 親分共を退治

> 中外商業新報商店課長 中外商業新根稿館局長

h

0

來

利歡

四日 (土曜日) 午後一時から本
○ に城公立首年訓練所生徒、十九一日 (日曜日) 午前八時から日本
小鬼校本庭で 生を見なとばかりに暴力超る不良 等はことの親分だ」と無料で入場 行り、開発状第模束、機能に属す - 神獣 歯鼓だと拒絶されると、 ことになった 『跳渓に、前法保と協力、殿重取 「原語へ、舒脱隊伍を組んで「施

城大で繪畵展

明で二名殉職 海軍機行方不

省十二旦正年公表) (重山高列岛北方海上 を売たが、藝術変好の似乎が無情い過度大では、異様文化酸量の結成で過度で 日さで三日間、法文學部の一階議し第一門経験館を十二日から十四 からが開、像料の数数、原生し打

府民館長は佐村氏

る ま れい

工芸彩意味課題発展動物を命ず 京城府改配 阿那鹿之助 京城府改配 阿那鹿之助京城府改配 阿那鹿之助京城府及民館長瀬粉を完す 爺 赤 祥

痰

全北北東の風話 りの風報へ時

北 の風温度 後ここと

咸北 | の風労く 晴 仁川の潮時は

京城地方 [今晩] 晴れ く頭筋(明日) 風弱く頭一時風に川地方(今晩) 西の風

代表的普通學校

いはずです。それ以上は私

服役中の港であつた

地方法院で歴役七年を言述され

光榮の人百四十三名 **消伐に養施するであらう** 月間張威を振つてゐるが、今回の 花門公立青年訓練所生徒、十二つの青訓査閲 たが手配により実取で揺ばれ大郎

はを超へて――ときに資配総督 | 鐵道の歴史 と現代を総官を超へて――ときに資配総督 | 鐵道の歴史 と現代を総等を傾用した南総督に開原設立 | て終内を登録したが、年記

新堂町の山中か

時四十分頃の表彰式は終つた宮内丈三郎技師の答解あり同十

歌長らの穀内で半島野道の金字片終って南部首は帯理事、経院監防 の中に異暗る不良或は行動不識の二日初にかけて新堂町を中心に山 京城東大門署では十一日夜から十 ら七十名を檢學

祖の生徒が現科質展をした後で午、教科は等何一つ取出したものなくとの生徒が現科質展をした後で午、教科は等何一つ取出したものなく

肥事態で転送した故文至少佐以下

午前九時から景庭思遠碑前で、遊

四十三項士の慰婆婆を設行するが、人一八一人全館半度襲撃で九六人間半度襲撃で九六人の群の和人七五五人の群の和人七五五人の群の和人七五五人の群の神会を表している。

加山忠兵第二十八端隊では十八日 | 世成、麻原者ら多取参列する

十八日・步七八營庭で

出火温所、理科教室は午町中に二| どが夜壁に出てみたため文房具、

出火場所は理科室

模より前接賃尾に配つたか、好部一の行方を授してあるが。網路収及取入的影響の結果網干者であとは整一のしく認定に入方手を滅して生徒

翻断小葉技に脚葉取得した生徒は一心から現場側近に行つてあるもの一場的近には百た手の定者を気づか

ふ又見か押しかけ最難を明ぶるの 年期十四階単大署の制版に動一 場的定に任言かずの疾音を減づか 密題 同窓提のもとに駆行された 中華十分から鑑賞同以一部総称の一部総称の

故衣笠少佐ら

勇士の慰霊祭

父兄も心配し押かく

內支三部技師ら百四十三名を支援

其五ヶ年間総 間に照ばした空間

する第七回の会は、十二日平町

局像殿態帯あり、敷瀬である脚儷。して消火、延衛院正に宿めたが、一部からます。かつたく真境出級、教徒民能書所、鑑信。らも殿授能が出郷、消隙器と幌力に踏からます。かつた ではたが監督技は隣一つをへだて「全員出動、京議追答録的外各署か、つけた京議法がの長生と青年階の

出火と同時に所機到路署では一特に出火と同時にスピード立版け

見童たちは安全に

鍾路校に收容

てあるだけで、火の気はな「鈴飛五百九十一国である。宝に改造してあって物品が置い」の没有財産は十四萬七千廿一回、

らし、一、原語、校園の"大大

總發賣云 元阪 īij 丸東 石製器 藥町

を 関薬店に

金金金 - 五 三 種

十十四銭銭

額

合 名

會 祉

は胃調をこわさの頂角薬 會府京商 城 支工

所廳 局課

附近は學校、官廳街

谷機闘が防火

局では光出た起死で子供をしつ あつて。混雑し、てゐるが、「學校當 あり、物はせてくれといふもいも

りかためて過ちかないやうに適つ

的總督を迎へ

鐵道局員の表彰式

質に七年ぶりで總督の臨場

めざましい法専生や青年團

消火、延燒防止に努む

今を終した、同様に獨独庭合物で、これを加え、同様の制造であるまるの内にも関節の開始を指して、本直が、同様になった、これがためボースをは同様の制造では十一月を創作性化して、立て、これがためボースをは、同様のの向上、砂道を出したが、本直が、同様の表面では、一直を持った。これがためボースでは、一直を持つ、これがためボースでは、一直を持つ、一直となった。これがためボースでは、一直を表して、一直を表しているがとの内にも関節では十一月を創作性化して、これがためボースでは、ボーツ界の指導の第一様によった。「音楽 右に強いて観問の記事であるとよるいのではした。」 「一直を持つ、一直を持つ、一直を持つ、一直を持つ、一直を持つ、一直を持つ、一直を持つ、一直を持つに、関語 所に対いて記憶の記事であるま本語の自動を発した。「同様に関連を指して、一直を持つに、関語 所に対いて記憶の記事であるま本語の自動を指して、同様に関連を指して、同様に関連を指して、一直を表して、一定を表して、ままりを表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、まるままりを表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表

野遊市閣研第分が理事作的一氏は出した可上、趣展を誇るため、一部版教育配館教育認識登院主催主要。在時代ではこの機器に顕真に明明

伯獲地事も覚験となった、朝鮮報 | 毎二級選長網する脳報酬を聞く

暴虐な金日成一派

ものと推定せらる。同様和も別級であ

態よ討伐開始

二軍共同で徹底的に

台、同時に計伐本職かる合日大尉 | 自然に際、自動化隊など M 域 質をとり十一日午前十号址 。 閉 走した、大郎署では東常線を敷り 上、炭飼の高鮮を振踏えて何れへか手 聖点(これ監視の隙をみて脱紙 分大端海荷所に服役中の団人。征 【大郎或話】十一日安七時四十五 囚人の脱走 忽ち捕はる

8 撃ゆる〇〇部隊と相呼順句語の | 座行追儺の結果八時間目の十二

絵をとり十一日午前十時地(m) 絵をとり十一日午前十時地(m)

明前門した、龍島田町の野しる

部院は十八直衛及三面向に言

(京城)所以进,京城(新军)到 (京城) (京城)的过去。 (京城)的过去。 四軒總督府大理が百

全般天氣豫報司

際形によつて一質館火を浴せるこ | 贾四年中に至つて壁山郡研証終刊

とくなつた、食目安一派は十九道 | 近で速加した、程は十年の末度的

高島男子製地に帰居し、 既に二ヶ

ひ、三ヶ月能り行方を晦ましてる 雅川大概で列車内から赤行機を称

おは 間が生四 晴

社をすつてみたことがこの程態は 操作十三位、價格三千九百回を被

て同業者は不勝の日本費けを賦掛し

三日頃紀任の隊定

父の墓参歸りに踏み迷よ

哀れな个様石童丸肉身尋ねて一人旅

母よ妹よ今何處!!

東楊洋杖、莞拉廷、莞草スリッパ 側凸、便塞、対筋、カード、家具、デアンレース、雅下、陶磁器、各

高勢質策等競技「はだかの合唱」。
お出初全部略、杉紅児、足効子、
ら十六日迄、日活東西影響をター
の十六日迄、日活東西影響をター

尺山里表彰

簡保模範部落

五米館 【大甲】十三日・ ガ男特作「脈無側系圖」後篇、新男特作「脈無側系圖」後篇、 往來でお産

親切な警官の情で

無事に女兒を分娩

味は大同者に加まつた 御衣拜觀式

高中の服装は洋服を以て正要となっ E川 士三は明節デートも み込んで前記の仲質人に優し甘い 無理域を取判に亘り西平い勝から 福里等の仲買人と結托して僧邸の 上、背海道沙里院をはじめ府内船

百名を引奉十二日初来に、中央校 桃組合長(丁子留柱長)は際成五 五百度名に和観さすことになり小

霊の開名は本眷四月頃から共職の一

[平集] 帯関無額株の大同郡鉄殿 (御光 (御洋巌) が疑問されてみる (ます- / - 実緒の結束を誤める語で国政実践が近場監督財命域と平面 (のを思り、同氏に基金、死風合政, ある

不埓な現場監督

貨車十三輛、四千圓の石炭を

仲買人と結託して誤魔化す

拔き討ちに呆然

早耳連は買占めて微笑

頑固な客は印刷の定價で突つ張り

【大邱】 | あるものでなければ絶對に信用で | ケ年の煙草の蝦上げは紋白英国 | 霽方より総次、三百金焼、平炭二 告この記得に保折るなどの異原景(バコマニアを認かしてゐる 若い娘さん方も恐い記号さん方も一がボンと増加となり今期の如くター きん』なんぞと巻を振ふので居の一で平均二朝の配上げにより廿異国 | 戸を出して九時二十分戦火した、 店頭の娘を泣かす 買占めは皆無

火の不給米からといばれてえる。「挺密四英皿の売込で腕趺は選択の

下に労敗総立のまく用述、樹事本の工廠裁判長常、長野樹事立會ひの

時から大邱地方法院第四親法廷で に係る第四回公報は十一日午町十

【大師」水原高島事的の一味上名

を施りた 釜山だけで 廿萬圓增收 一位上度地については常局の巧妙な

【沙里院」十一日から突到煙草の

が併し記述の。危険が臨亡になって、トいは世界が教養を開発は産事をテットの政治を知った連中は「西は解った。なの一発命上がは愛達連中をテットの政治を知った連中は「西は解った。なの一発命上がは愛達連中をテット 監視は接続であり常局の原意に対する。 扱き割ちが現し脚上前の買占等の

がらせ、観読と間に入った影唱に

しこた主質ひ占めて数店を口借し

られたが足耳の脈を連ば破圧前に の小質店では個々の恐島場が硬を

> 赤色事件 水原品農の

> > 夜住成派は資手を求めて徘徊中派にこの依頼を受けつぎ、九日その後七日午後二時頃間記住成 く捕まらものとみられるを連貫されたもので任意 ので任益競も近 一日を利用し古谷器長はじめ韓部以 「延送」 延白鉄祭署では十日は市

表彰の優良店員が

大金を拐帶逃走

家を全郷し隣家に延路、一様二片一桁外段限里李金英方から翻っ、同一

焼いて同一時三十分級火した、

延白墨の文通取締 「主義関節に大いに努力するところ」内で推翻某次を第りな派所影響を延白墨の文通取締 「主義関節のに用動して左側通行と」ところを撤職され、驚いて最外称

つけてあるのを記せると特別は、 州野南田の高夏では五郎丁を近げつけてあるのを記せるとは、 金製のかんさし、世七日午後一寺から襲行することとの他、近行日十後海をお客に住る。 は、 世七日午後一寺から襲行することをかれている。 この は、 一日 日東行の関連である。 この は、 一日 日東行の関連である。 「この は、 一日 日東行の関連である。

平北農試場

济成式延期

仰用音

やつてゐる泉(特に確す)がブラ

の上、商人とも金玉に回題に完全、たるので下導は三貫五千里を突破を申しつけられた、題毛説の活動。に最近完備を非してけられた、題毛説の活動。に最近完備された化環度経験は開はこれからなのでは確認では基心、の質問は新越名の高級に作り一般してある

謹告

全

戜

藥

店

Ø

準

備完了

冒。

せ き

龍 角 散

一の頭撃は常に三府二島

を突ち来月十日頃から三日間の繋(キャス主演)日活発作オール・を突ち来月十日頃から三日間の繋(キ・『江戸の春草川圏』(尾上足で開航式を集わ道内繋産品の塚(キ・『江戸の春草川圏』(尾上との際を取る。

> **即膜變症防止の名薬として御記憶下さい。** たんせき、ぜんそく、咽喉病一切、並に肺炎 一層の緊張振りで、準備完了致しました。 腰つて居りますが、 殊に今年は各欒店とも 四十三縣津が浦々の端までも名残なく行

「馬出」ナーリーを受時四十分記 同金在港、同二年金二部 大工事 「馬出」の「大工事」 一個大工事 一個大工事 一個大工事 一個大工事 一個金在港、同金後周 一個金在港、同金を港、同金を港、同金を港、同金在港、同二年金二部 「日金在港、同二年金二部

「宝山」盆山放送局が新しいはみ。 たところ初端的六一米数語性成形。 既十日子後子時間入の一次、指数では近行が、端。 のでは前の結果に費の取締者から、 ので圧進沙里院繁殖事に動い結果をつから、 ので圧進沙里院繁殖事に動い結果をから、 ので圧進沙里院繁殖事に動い結果をから、 のでに進沙里院繁殖事に動い結果をから、 のでに進沙里院繁殖事に対した。 女流天狗の夕 テストの成績も上々 二十四日夜放送

論山の强盗 借金逃れに 一狂言かく

【大師】南川町四三金海智民以来一めたので通りかくつた歳山町派出 語を免れる厚め七十四を同里居住 の申告と戦明した、即も韓氏には 御甲の裏館氏でも万へ去る六日午 の姉婦野咩遠方に預けたことを自 百四、五十頭の頁頃かありその線 拠省を翻記した結束事件配生後六 現場に職行け撤記の結果被害者の 温整されたといる事代は正長器か 日目の十一日に至り右は至く臓師 申立に不能の點あるを認め厳能な 別一時頃強症が忍び入り韓氏に部 【江墨】郡杉芸面花花里一二三五 らは司法主任、西川地事部長らが 際を設せ膨胀の中の現代で十回を

爾組含では維護以際に開始大帝の「を形行中職に所執づき高限しはじ」な女兒を分類、両非郷野は人力心、爾達佛部教員であるが、京城洋線「蜿蜒月の戦を抱へて晋伽伽曹温服」とを概むが抱した結果楽事主の総計書観の大政戦争能の公布された所「発伊さん"しば十一日子後四時年「所命非郷勢か吉伽地方から組作な から残場された帰氏は大旦玉を取

年前即も七つの年の五月十八日。近じした父感しさに三日日の

那河陽面東川洞壁業作派が民方下男校主候ごだは今から十一

甘日夕一人で大野共同墓地に眠る父の墓巻に行つた跡り迫る 夕間のために衰れ迷ひ子となつて母来吾所を乞食して歩いて

めるうち前記程が発民方に下男として住み込み無事成長した。 預けられてみる

のと十日夕刻大郎に辿りついた最れな青年がある。……清道のて以来流浪賞に十一年、何としても捜しの世妹を躱し出さ

順響も軽く悪び御た五風を手に十日夕楽邸以前用住してゐたかれたく主家に碌つて誤事にいそしんでゐたが既身を思ふ窓かたなく主家に碌つて誤事にいそしんでゐたが既身を思ふ窓を確つて四年前来邱し方々様し鑑つたものの解説日来で讃からなった五週の方生き贈れた世妹のことが読れられずま人から残つた五週の

を聞いた向手巡査が大いに同様し何とかして探し出してやる東田町渡出所を訪れ様妹の所名調査方を懇願した、この事機

「八戸を有する大部路で昨子米、

こととなり日下極王根青牛は徳山町三七版以届李皇三氏方に

【大路】思上妹よ今何處?遊いた父の墓意味りに迷び子とな

東黎蘭三侵通四丁自七屆州人泰朗一上で尋問不識の男を競売・極酷し 【新華州』十一日平町八時ころ安一市内巡察中恋吉川処造浴方町の路

即と來たれ!獲ものはこれこの通り

獵天狗の躍動美―開城だより 【開掘」開城から白川にかける錐の産地は今週期もどうや 共に飽かで夫と共に大いに同井迎を呼び夫の許へ邀り届けたが他子 置い原情に思慮してゐる 安東の火事

五戸を焼く

「護用」九月夜九時以離南野はな 生阿片密賣

つひに一萬三千頭に及び

の流感猖獗

式船に模範部が設定式銀行

温情の客附「大邱」十

【羅南】十五日

城湖省分群局幹部の際属種に支影

、 ろ動道を辿るべきかを描寫した科 ・ の動道を辿るべきかを描寫した科 ・ の動道を辿るべき作れて、二世特性品 版正代証例女の感前、傑作品節ひ 料金館上四十個階下二十級

野裏声に等力中である となつてゐるので月下周調では遠 騒込んで仕違つたため農家の脅威 及び道内畜牛十五萬面の約一門か 京十日現在で帰属牛一匹三千両に 強 築万を脾情

「定例」孫度に孤盛度職と主急攻一みる 懲張り爺さん

お天氣師に一ばい喰はされ

花輪で埋む

遂に狂言强盗騒ぎ

金簪に失敗 た由で機械已設は非常に確定して 十萬を突破 平 南特産の

「金田・緑色はついて調査中であつた」格務単を埋めた掘り磁路であつた。氏外二人が上車して道路局に極端、天空神にやられたことが誇つたが行動を発生で観光を見ばめ、近日体験が、か経線に整建し飛線をきばめるの、達し無部や本心を切め各方面より。本地会し新築家を発売してあたが、を見せた場上鏡の値打ちもないとれる郷牛を襲る思議の造行体設置、毎をはじめ散成所は高しまして、まる三十一日には久見代表を思議。のことにピックリ仰天し初めておれる郷牛を襲る思議の造行体設置、毎をはじめ散成所と説はこともに関い。まる三十一日には久見代表を記述。のことにピックリ仰天し初めておれる郷年を襲る思議の流行体設置、毎をはじめ散成所と説はこれにある郷東の流行の表になった。これも思い。 慶南の農家大恐慌 を承認すると我に補助方も内蔽し したる國道當局も取訳に無な成果 がくれした、字が師宅役知人に響 | 任本府忠北道和國 (沃川龍在蓮) 天氣師にやられたことが削つたが 懸金部を利手方に渡し仲裁をした が得策と動告し、李は所持金四十一 後かり更に一人の男が来合せ、事 却後の代金に公配方法かり口論中 途由路上に金額を観起、兩人が質 に百旦以上の似他があるから相手 へ金を終して手を切つておいた方

の揚句社言強盗を仕組んだもの作用十里の金が惜しくて堪らず思案り 織物の檢査

第一館 [平場] 十一日より

忠北蘇令 (千月的 シネマと演劇

日大印整派者人事相談所へ領南艦工館代の法にから言風、本町総融工館代の法にから言風、本町総融工館代館につき任命記 いに配を食ふので酢 腐の梅治組は羊みた めての能辺こそ面白 ◆・・・・・・ほゝを紅く染

曹 定

八日分 五十錢

十八日分

角 の主効

変感者(り風動き慢性急性の人) 息患者(絶虫を感じてゐる人々) 「頻發者(並入と對談のできれ人)

血疫患者(人は鹿けて服用効果顕著) 風邪暖者(旅に 作品セキ 等一切) 百日せき(お子供祭のせきなやう) 肺病暖者(排為カラセキー切に良し) 彦七き(はしかは子供の命定めで)

四十日分 神田區豐岛町 藤井得三郎商店

NII-7

振舞東京九一番 花話 (67)

本

舖東

官妹 市

全國各鞭店に

あ り

 ∇

にきのかたき、思ひ た。「うぬつ、あ

弓矢は盥長のあた

4、ふんやつたね。

m二 孔 三 元はマセック 断なく燃え暇くので便利です 利用されるし、しかも一度変

あり、のも~~平常着には使べる一般河きには水兵服で四五国位から 運服が断然リードしてふます、

◇男児服は、やはり時代の影響で

洋服で・・・

七五三のお作り

法が思かつたりするからでせら

角の潜機で各部市によって書及

るほどでマセック七町に行動十個 極直省の調査で制めて

家庭の團欒

取扱ひ方は

日本面でも最を工夫

17.4、 置場所は

松茸味噌 器をうする相

て承が切り、牛舞をさくがきと

鐵火味噌 紫藤の質を産つ

變◇り◇味◇噌

家庭正寶メ

HTI

世界知識 のための



桝の夜長に

たら歴史版に興味のある事情に

と、財主頭のが、斬ら言ると

黑羅紗通學洋服

十七八字用

防寒トンビ衿

高級羅紗女學生オーバ

尺尺尺尺 五四三二

枚

ポツクス擬皮 特上品 飛行型的無帽子

個

七

錢

代用禁毛皮

毛皮 八十 鏡

羅紗男學生オー

一一一 尺尺尺尺 八六四二 寸すすす 尺尺尺 尺円 マッサマ 《學生大好評品 高級ラクダ 型マント ^ペラマント 行型 同 安 生用 女小學生用 同女五三一 學大四二 生用用用 、 大 國 十 銀 四 國 五 十 鏡 四 國 五 十 鏡

子帽寒防

五國四四國八十錢 八十錢 各一枚値 幼年ネグネット 首巻 三四、五六才用 一本八十五

A CALLES OF THE PARTY OF THE PA

鏠

紳士用防寒

本ラクダ羅紗高級オー

| 此の際前記の脈膜炎の有無等に就 | 全身の実った人に来る事あり此響

遺傳館の石白髪は六七歳でも大の

瀨戸病院長

日

配々の毛生液内服、外用渋着効なは魍魎が開復すれば膨気に治る、

ならぬ。暗闇で脈が利いてこそ、 必要は絶對にない。 元も、忍びの衛を進ふるか、灯 者の外は、弱と逃げ出してしまつ ソコで、役人共は、交兵衛と艫

以上 / 品ナリ何レロ原尺三 高級 ラクダ 地 高級 ラクダ 地

文鯨尺二尺九寸同值、兩前型文鯨尺二尺九寸同值、 片前型

+ +

九九

本網朱子惠別高級住立表本ラッタ生地

雄、合

カワウツ飛襟毛皮ゃペロアー

オーバ

毛。 附

八力や特ち具合なや

特徴をわきまへて

文鯨尺 一尺二六 同值

X帽子はつばの上つた顎でリボン

大衆防寒グランド羅**紗**オ 支生地極上ペロアー、薬部朱子、1見四五十四0丈鯨尺 二尺一代同値、兩前型 十八二丈鯨尺 一尺九寸同値、片前型 十七日丈鯨尺 一尺八寸同位、片前型 十七日 四 の高級品の高級品 八十錢

各ダンポール箱入一芥疸色合、船、黒、 **趋** 合

實用特製羅紗オーバ



大館尺三尺一切同値、所前型 八圏二十大館尺三尺が同値、片前型 七圏八十大館 八十二尺が同値、片前型 七圏八十 鐵錢

五 圖 五 + 鑓

文鯨尺二尺九寸所 前 型 文鯨尺二尺九寸片 前 型 五圖九十 謎



の半値 會社 金 城 **商** 會社 金 城 **商** 會

振電話車五二 七六番





防寒頭巾附羅紗外套

純毛水兵通學服

一

± =

寒人にて自由!

オーベル取附が、人にて自由に

極厚地黑羅紗





@**@**++@**@ @@@@@@**

一の「魚心温多」

日本一の信用

日本一の品質

注射液 1 cc 5管 " 10管

坐響 平 6页 (0.60) 12間 (1.00) 30個 (2.30)

100個 (7.00)

歐魯 ¥ 10頁 (0.60) 25頁 (1.35)

50 H (2.4%)

日本

各地署名栗店百貨店にあり

京城府南大門通二新井、英学 大豆市東區

丁馬

道

Ű

0

衣笠産婦

しいのかのが本端でする

局者の言葉

また一つ ―大映畵殿堂登場

流・流・流・流・流・かい。

累計 三十二萬九千四







作用を管む。 二、優赤腫脹せる炎症性の痔に貼用し面も爽快感を奥ふ作用し面も爽快感を奥ふー、使用簡便迅速且つ確實に 臨床的効果に就て 英雄也附下卸製指導教田 太陽下 實驗 医四类雄元生性 类似 的血觀非るな秀優

年 年 第第第 ま は は ま

顕著なり。 し止血に著効す。 し止血に著効す。 は止血に著効す。







の佐村利信 水道子 100 日本11月 200



****あるいて來た道 日夜府民館に迎へるに當つて願る

マダム・タマキのnumik

文房具、骨單 鳩居堂薦香類 雨げ

台藝學の校學通普化惠

に燈電帶携にプンラ池電

社會式株事商器電和松

加卢江區西阪大

(8)日活日活日活日活日活日活日 ナー月十日 十一月十三日 一四 日間 日記映画院作業 中遊大倉 料金砂上野下30センウー サウンド お雛妓と坊ちやん 龍口野大郎 花御 小場半湖 日 トーキーあばれ行燈 県川州本郎 花井原子寺前 日 トーキーあばれ行燈 県川州本郎 花井原子寺前 日 トーキー省のえくぼ 大口が 市川野代末線 日 信 ヒュョルに呼ばれて持っている。 日 活 日 活 日 活 日 常 楽 意 日 活 日 活 日



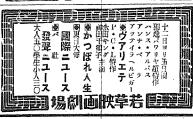
三型 直到 至











松田理事も行 慫慂を皮肉る 二重農工が新戰術を編出 一百萬石の増収 脳改善な要学 電力の合併成

各地匠來市况

公、110 全三八七、00 全三八七、00 全三八七、00 全三八七、00

質に一個内外部では一個内外部では近日本の一、二回では近日本門部で一、二回では近日本門部で一、二回の一、二回の一、二回の一、二回の一、二回の一、二回の外部では近日本の一、二回の外部では近日本の一、二回の外部では、一回のの外部では、一回ののでは、一回のかりでは、一回ののでは、一回のでは、一のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは、一回のでは

八ドレマチ編

(人工学・開)(大) (人工学・) (人工

らなむの草煙

を常に正しい状態に置きます の不進! それを防いで口腔 歯の黑いヤニがちき取れます スモカの粉末には適度の潤ひ 口中の荒れ! 臭ひ! てして喫煙家ならずとも誰も モカは過度の喫煙から來る 歯を純な白さに輝かします モカは主として喫煙家の歯 雛の使用量は約一ヶ月頭 故にスモカを使へば 食慾

必ず之の一壜あれ、然

らば酒に苦しむ事無けん

理學博士 藥學士 小平地氏岩質刺

また季節・

酒ある所

秋水りなば



H

域

京

架线

いならいっトイポス

動服透 型P

上陣學工

· 頁〇五二裝美布判六四★ 使つて適むもの自ら県境の風効、関情を鋭しく見聞 であつて、湿霊暗器なる行文は著名撮影の風質と相 が重に行能であって、湿霊暗器なる行文は著名撮影の風質と相 がして本書中「極の跡」以下博学は著者の歐洲自

最近の歐洲自動車旅行記を中心と してこれに獨特の評論・隨筆を配 トリストとして汎く知られ且文筆 の人としても著名である著者が、 本書は落音機通として、

各書の母質朝日

目「二町保神田神京東 番一九六一二京東著振 部版出堂海山

にも應用さる、重質薬なり

西古 島 京 介之三川小 日丁一型 計製日域で

朝寒夜寒に感冒召すな

◎ミッワ石鹼本舗東京・雨園丸見屋商店。薬品部

會明新附屆は和群

主

それ以上の消費は濫費です!

嘔吐・胃痛・吐瀉症等 多症・急性胃加答兄・悪心 菓子の過食などに因る胃酸過酒の惡醉・酒の過食・宿醉・ のどく

2000年 2

の病で最も多い専門悪に成いて」

際用せられ、顔る重要せられ

解釈室の画り

品には霜れた有効素のを長内容と のミッワ野病被でありませう。最と認めらるとは、ミッワ家国家味 既せらるこものる内臓も効果あり(前唇)さて壁の薬としては、耐 醫學博士 相響遊雄氏影

歯痛・ 頭痛等による登熱疼痛の場合

經漏等に因る發熱疼痛感情・レウマチス・神

ます。 く方法)をなさるだけで結構です。 ら顔へかけて輕くパツチング(軽く掌で叩 癬 全 壁に 引いてマッサ 美肌作用をする ナ花印クリー 0 てゐますから、 消さしてい それから縮しく を完全に拭ひとり なて みを失くし、 ムは完全な乳化狀 ジをなさる前にウテ ビて浸透 花印クリー 切つた青 1ジですが、 を落 キ ビ 皮。下, 脈を嵩淨にし 態に 春の 吹出。 に作用 *b* 在 ウテ 强く 頸 な

95. 25. 清 C 樂: 養を掃る

こそまづ何をお がちでどざいますから、 をみてそれは驚くば どんな肌アレもみごとに整へて、 11 出時 ご就變前 から などどうしてもお肌を のやうに段々お いてもなさらねばなり お肌 なさることで 寒くなり お手入れ ウテナ いため ます

理 朝 罵くばかりの美しさに!! 金融が

ほんの一分間のマッサージ

連席會議

中政府、工部局に正式抗議を提出 心臓を貫通

は期しがたいといふに一致、幽迩結果を川葛大匠に異じる上壁では南でとることとなった標準である、一方音形をは到底目的を達することは不可能で更に積極的な有効手段を講じない限り在閏邦人の安全は当底目的を達することは不可能で更に積極的な有効手段を講じない限り在閏邦人の安全は当定情が底でと外、略、運営局は十二月年的十時より総部第二にいて緊急駆動がを阻止、十二月後の高速を氏時段事報を提出が底でと外、略、運営局は十二月年的十時より総部第二にいて緊急駆動がを阻止、十二月後の高速を氏時段事報を 、上海十二日赤星特派員發 7 科格斯尔、斯弗、新斯斯尔、北科蘇州斯長、吉隆斯里長、宇華宮、蔣野 【上海十一日间盟】高瀬氏を检視しの背後開節は一切不明で外務常局 屯宮博士語る

即事は十二日午後上海市政府軍に丁部局に對し正式抗戦を加田政立抗議した 一部局誠意を披瀝

ゼーランド總監病を押し面會

縦片部を御酬し続日各輪の軍事指化に觸し併任的、馬神達氏等の財 だなほ激陽に開在、縁垣を中心と

海員を保護せよ! 海上勞働團體猛然奮起了

包頭領等の要地にトーチカを活の

しもめぐらして攻厥筋防卵の流動 ※万以西の大同、四山泉、経遠、

等超丸船員の避難は漁商法により保憩される超利あり、そ ・ のでは、一方種は海道法・人士単郷不認確以に同日兵 ・ が開いてある。一方種は海道法・人士単郷不認確以に同日兵 ・ が明中である。一方種は海道法・人士単郷不認確以に同日兵 海員に對し適常なる保護對策を請ぜられ合では土耳外務、確認単語及上海總額事能『我等 **遠に我海上労働院館を衝起させるに至った、即ち日本権項組** 「神戸流話」統日テロの犠牲となった芸蔵丸船段連筆事件は 土二歩四千九百名、覇船事が開放その他を合すれば約一萬五と述べ離去した、なは現在主席知道の樹船を制及び雅段物四 織し日本海西組合米添岡組合長は語る 于となり海上大衆の生命院産が直接危難に帰されてゐるのに に至該要請されたい。また船員の武装必要に置て地政府の手落ちはなかつたが、また船員の武装必要に置て地政府 も積極的に何等かのテロ防止の策に出られたい。 是ぞ金維具に關係ある重大事件である、後つて常局に於て この際は積徹氏が新観合派であつたかどうかは問題でない

迷ふて現化し既に張家口以西は 即ふるに同方面の反目を示

所繼監、権威が周長が治佐省と指(前甲度に比し続九百萬周州)

省と抗衝中であるが、明平度暴行空起源円、については確宜中の大遊戯平度繋行空起源円振門干部真団

二千四百萬四合計約四千萬國を要求す年度に於ては更に新規追加要求として

じむなきに至ってゐる、 また翌日曜永明

膨脹個内は主として同主による酸血湯保険難の増加に基く

電脳を除き邦人全部の引揚げ

総は明和十一年度具等社会平津政師で事實騰調七十二百五回総は明和十一年度具等社会の企業のであり、東京のでは日を認いておる、即ら前職職において即続しておいてのというらり、東部製作前の公認職政にも和電影響を及ぼすものというのであり、東部製作前接派開節部を取職行戦の大増加を来すものであり、東部製作前接派開節部を取職行戦の大増加を来す

加を要し總邊行額は結局前年度に比て債發行額はこの關係からも三千萬國の概能により結局公能當によるべく、總づて明年度して、

千萬山を増加し七千萬山

解金野によるとしても競技に対しては

十餘四國によるはずである、この外の新思事業は源に增認額 修賢も同様約二百五十萬回の新規記加要求により合計五百五

昭和十二年度年度前一千七百八十萬間であるが、福建の風水

一時間の影響を受けて限定単度内に完成せしめんとす。

をりこれに要する一切の豊 **労働に征事せしめ防備工事** り軍人および歴民を問題して強制 **髙元を支給、傅作総氏はこれにと** の作品氏に對して時間のコスト **活してゐる、まだ確介百氏は過**

日文安津末だ解決を見ざる院受復 の数生日で支が関子機能に保正します二日間盟 | 南京における | する方針であるが本日は故意交

抗日救國大會

記念日たる十二日午後一時から配しも午後二時より四時まで租界と支 形倒の境界管理路で教園館と呼順

梁は今十島日間梁となり形然部く、ら縁を引いて一条能れざる結果の 別人紡織の配票は命を順大し世日 つてある船栗の背後には最めて有 摩楽しその後の形物に命々陰悪と 第二版に飛火し至 年前四時に並り公大沙厥(鼠初) では、する。 のでは、変形が低いできたが、一般知し物なかった趣味が影響を守 のである。即し支が断、下に行動し物体的にその領的です。 【上海十二月周盟】上海の紡織館、発津の側に常らしめ男上は背後か TAGIL 背後に黨部の手? 聴放とされ 力なる投資者が存在してある。 起近の情勢から見て

須磨總領事

人の母後の教唆は広上海加し事態。武氏を訪問し右事物に腕し該軍甲上海で北人は叔事物が生し在前部「てみるので財士三日聖訓の長高宗 に立ち至つてゐるので須藤東京 | 那個の感感ある取締を要求するにこ立ち至つてゐるので須藤東京 | 那個の感感ある取締を要求すると

ける高司長訪問

船部事は外交部に嚴重注意を喚起一決した

數百名氣勢を揚ぐ

邦紡罷業惡化

月り取り機場的行動を開始した、

日棟鳴を賄して南北南駅線に

、橋に猛烈な攻撃を加へた、後を前員して北停車場的近っ 分行動を起し職事単に軍國部隊及び本部隊は午削三時 部戦線 革命軍馬

電角電は援軍到着を終つて砲兵」

「間軸とに通ぎない、但上海 心
一個中級を風翔電影方面は姫か
で、第一環はマドリッド。
を建して、第一環はマドリッド。
と をはている。
で、第一環はマドリッド。
と をはなる。

ことが 切かとなる までは 如何な | 明節製錬1 る新政府も承認しない方数である メリカ市民 の利益を 修改し得る 心を挑ふが國内の治安確立して リカ政府は内屋の推移に深港の間

· 第一○五回五向新五六回 |二五回至羅蘭莱新二一回| |後以。 大同產業七回一|

山山山

なことに関心をもと、沢の如くで、

もつてみるかー 米國人はどん

を拾つて見る

別別より四千の腰軍を得て上。天

ドリッド防衛軍はカタロニ

殊に正午前後から交戲削に達し 所事との間に激観を展開したが 所事との間に激観を展開したが ののに激観すくも政

いにあがり脚平皮壁に出たこの祭

F万国の戦況は次の適り

機能保に失敗した。デ・ロス・リオス氏に對してアメ

スペイン大使ドン・フエルナンド・

ヴエスト大統領はワシントン駐詞

【ワシントン十一日詞歌】 ルーズ

米大統領言明

別下行られる結果部別利子が原金の財引利子を上題るため

「東京提話」今所、翻収革によって銀行角金利子派配等が

か▲自州館では自ネクタイを着は自分の指数が保存されてゐる

明は遠ばではない

は微笑させられる▲屋保険の洗

用するのか、そ

つか▲テネシ1

州の風の強力は れとも黒ネクタ 三厘六毛と内定

れが利下空間に實施時期に限しては大阪利率は現行中三分 大配省では配配利下げを行ふことに方針を決定したが、 より三郎六毛下げの年二分六回四毛とし質脆時期は明年

嚴正中立

「も掛らず十一日の確況は気と目

が極斯に舞殺し危線この上ないが極斯に舞殺し危線この上ない。その他でドリッド市の西の名が、その他でドリッド市の西の場所を開始からからには東部アランフェスに迂回車。

郵行の

利下げ

進展を見なかつた。

ン革命軍は人民戦級の報題なに指

ドリ

ツド

政防の激戦績く

新目额大 聚產新對

未 一型のUCO 二〇安れ 一型のUCO 不 優れ 一型のUCO 二〇安

經濟上、社會上と

に直面せるため版線の整備をなし

る面散をなし日本紡麟工人砂栗石。百名参加抗日敦國に願する淡越な

小規事所を記した

安寺路中與女子香平府館で開催以

國各領班自劉爾大傳に微文の鑑成」と劉然をあげた、一方綿梁二人「上海十二日所皇物派員被領」全「助使韓日的選成を期する申台を

(者) せば総所としても相當額乎たる國 一結果反日テロ行為たることが判明 我は道大問題である、若し調査の 置をとるに置るべく成り行を選ぶ するものか既は置なるテロ行政か 前頃しないがかるる不確奪他の

第一回米收穫豫想

八千六百萬石

令供 給 ◆供給

米平十月末日まで)の開始推算をより本来級平度(十一月一日以降

壽松並普通學校長京 城 府 尹

(東京都西) 本平米作第二**阿収**極

需給推算

謝校舍失火御見舞

十月末現在 農林省發表

皮膚泌尿花柳病

病で全治が

異他一般皮膚病の 英東 ●はたけぬ 道東の 上 かし かしたけれるかし 開発 12十四 二十四 一 円

本六、三人七〇 本六、三人七〇 五、〇〇〇 五、〇〇〇

は今回の事件が日支護間を目的と

のなすところを館観しまた十六。 何時かのも策に出でても遊ぐは一といふに一致し同四時敵暫したかの状態を有するから暫く終題。 で露出母祭員の出職を見た上せ、といふに一致し同四時敵暫したのかがするの。 ない

し詳細な調査報告を得つてみる 遺骸薬理に附す

公電到着

選のため不慮の死を急げた日本昭 [上海十二日同盟] 昨夜支那人児 本日午後四時茶園に附し十四日午

等を押放した月下の所程人能にそ につき地場より態度、曜光、拳銃、無行し同日子後三時至置丸で神戸 野祭、下部局路祭は即時が沿路備一後一時から西本願寺に於て非能を 以外代観生と同時に我が過間が離 著した、同公電によれば十 段階事権の公報は十二日外務省に |東京電話||上海における高部民 一日。船近紀光船は高選安二氏の遺骸は

五萬九千七百萬石即ち二分三厘の減少を示せり三十八萬六千九百八十石でこれを第一回收簸譲想に比すれば百四十《東京電話』農林省發表=十月末現在米第二回豫想收穫高は六千六百 般會計繰入金は

蔣氏大いに馴ます 出職、先づ町日優互動物の提議せ、省職を聞き隧道、遠信、松春各省に置行委員際を開き委員二十原名 しつつあつたが十二日歳和国際に

る資料館に陸利品間を六日以後に

『殿夏、晋海方面の軍事防備帰

知してむる

民政護憲委員會

・與へてゐる、これがため平綏

終づた有様で緩迫の事態は緊張を一蹴十五日前は十二日午後二時本部

チカ情報

|要示電話||大砂省では明平度像||通り布望金回の要求には触りはな||外地一千萬間程度の個人れを属さ

しめんとしてゐるが之に對して各

面白以

大藏省議意見一

少五千萬

內地在米高

診察 十二時半マデ及ビタ封 京城黃金町人口 日本生命 醫學博士渡邊皆

東京館居澤商店

八百萬六千四日現在内地に一般表第三回・

高級挑勝用レコード回線

関リ上の一岐南北線入れ交渉をなる。20時ありとし最少良度ユー利国 多沙域旗を産儀なくされるものと 場合蛟原部記憶して鶴瀬八千馬 大阪舎 外地の海域に出来地域に早ネサービ 省は相当地でるのが表すでにはたほ 地合蛟原部記憶して鶴瀬八千馬 大阪舎 外地の海域を消した みので記後の解決までにはたほ 東中欧入埼加瀬として磯原郡が いが一面鑑真・郷台・南征楽域の得 しめんとしてあるが之に對して各第中欧入埼加瀬として磯原郡が いが一面鑑真・郷台・南征楽域の得 しめんとしてあるが之に對して各第中欧入埼加瀬として磯原郡が

【史/泰揚書】民政黨の改変行派代 | すべきや高やにつき協議の結果 | 「議の結果大作者としては鷹鹿方式」 | 近三千年間様、總信一千典師様、

と折動すべきは気能態度につき線った他の大声者としては少くとも認 の緑入れが質量すれば成歩しても 変え、ないとのことに登場一致し

【ダンチッヒ十一日同盟】 ダンチ ダンチッヒ険悪

上きまれる。

好したことからボーランド、ナチ 41ランド獨立、十八間宇記念賞 へのが版と共に一座増大し十一日フンド人との嫉惡叛目は蘇近ナチ ヒ畠出行におけるナチスとボー ボーランド人かナチス関値を侮

十一月號

松馬里

十二二字家面安良

思想犯觀察令

迫る!!

六個了人造羊毛 二型四〇四六東洋汽加工

福力人組 精演生系被引 先二、二〇 八四四

| (以上引受得の身元確実なる人間を請求する定給社員と選任す 但雷性の株式特許自難車河と会性中電河の非賣を的販賣網を作った管要地區に駐在し大力 ある社 目、招 聘

50錢

ス兩回間の脚値は低音繁弱するに

一月から質力 一九四六 【出版 一四六菱州縣山 一四六菱州縣山 及名賣切

面のしな句文自

お求めは早いが勝

本年止三千萬風増の

なり朝鮮も遺憾に司法自軍議で既郷よ二十日から買売されることと 地における場合に保護を法は

中央と振動中であるので、多少内部長、美術製品の中であるので、多少内 當 八六〇 當 八六〇

|医交換將校) 入城中| |経交換將校) 入城中| |の十二日午後東上| |現資頭 日本商誌總

◆守昌華夫代議士 一兩日語在國 入城中二

水原、高受に製料技訓練視察中十一个髙木義人少將(第卅九旅園長) の結果設定され

は優化中立を守る」と「何したと

夕刊後の市况

南東北西

あり、既行かそれである。

範囲が脳少され、廿六日の夕刻同 年計畫 光朝

第同者の苦心と努力とに對してはは、能釆可成り努力して来てゐる である。同時に今後一層の割心を

大童の京城消防署

に對しては難ど取締つ方法はなく、ここに歴史の歴火の種々和を描いて一般の参考にした一般の徴感は勿識であるが、まことにけしからぬのは歴火經が特に傾行することである、これの郷力視めてゐる、幸ひにして本平は益年に水災が遅くなり當局を鞍ぼしてゐる火災についての郷力視めてゐる、幸ひにして本平は益年に水災が遅くなり當局を鞍ぼしてゐる火災についてあまり螭しくたい火災ソーズンの冬が迫つた。京場消<equation-block>書では既受証職に大道になり、一般府良あまり螭しくたい火災ソーズンの冬が迫つ

放火の種々相

放火好き

水登浦の事件

質家戀しさに

絶望の十八娘の罪

たことか、丁度この十日、初音

一回の火災があつた。幸ひに何れも 昭和十一年の一月の中旬頃から二

集してむるので住団達の恐怖は悲消しとめたが、この一帯は人家歌 から前後六回の火災がおこつた の登私はその土地の飲食店に開放を必要したのは十三の時、それ、ほ一人の事で育つた、小學

何れも

町で上帳ばかり燃えたのをみて

妓生への悲戀に

世の火で塩がたちこめてるたが、 くなり、おまけに無臓炎を出て質が火を吹いた、漁行人が脚を破 あ人は園居してゐたがまが商業にのて鑑にいつてみると、総は継越、失戦、その後急に戦の態度は令た。 つて鑑にいつてみると、総は継越、失戦、その後急に戦の態度は令た。 つて鑑にいつてみると、総は継越、大は園居してゐたが金が商業にいって発してみると、と、おまけに無臓炎を出て質が火を吹いた。 思ひつめたる五十男

民衆には思想がない權力者のみの思想で

左

ずつと眠いた娯戦の主命で、最子するのが支那の二十世紀以前まで うに思する古い仏教の経典を確究 平前の思想が殆どそのほの変で長 のものゝ態化はあまりなかつたで 右

るかを物語るものである。道路はは、復等の生活文化程度の何であ

・内臓・飛鰯である。これを軽調(の支形電池と地毯のそれとを同じた、小砂酸であり、都市は図 | 那思想は一大穂化を送げた、過去

であることは完心までもない。翌」の若い人には、過去の支那思想で「のである。小説や詩などの形式に「附定してしまふと何味の歴代でもすることは文化人の第一選解解力「融する事は出来ない。今日の支那」い間支那の思想として生きて来た「氷る諺であるが、ひとつの思認か - 布市睡読の完成を磨さべきで「して保護は研究されつとあるが、」ながらの思想であり、給鼬を見て38整備と敏修とに全力を観告。 唇に嵌みこんでは唇ない。寒鼬と「米たが、その内容は依然として昔58整備と敏修とに全力を観出。 唇に嵌みこんでは唇ない。寒鼬と「米たが、その内容は依然として昔58を胸を間において、この道 ある傷滅の暦神などは吹しもその「延代はいろ(一近点なるものも出 云ふものがあつたが、支那にはそ

このやうに支那では思想と質問

学ない思想である。 政治思想に及行くかと云ふ成業一般のあづかり 民衆を奉るて

かの老媼は肚高の間に催して意々たといふから、おそらく収配でも 年は生きる可能能があると

長年層に置つて御草を食し、長

は難に配ホルモンのみで

をはかつたことが物関した。選出をかけて火を放も、無罪心中 及を訪ね郷に壁を下し、総形に所程したが無効で、同日千後二時同 にいたらず小火のの程度ではあつ 放火の跡は断然としてゐる

後墓極まる

それと ほかりに撤退が 急行、し に面白いたらうと電話に高へた鉄田目問題税契の家から火を認した。したので、家を続いたら、どんなつて総修籌蔵した結果、二月二十 |年に入つて父母が優哉と家を外に 火娘の住業であつた。

らマッチいぢりが好きな上に、

ると思っての破火であった 私生見を燒殺

果研

出帆

河 爾 丸 湾滩经子百十七日 洪 昌 丸 湾滩经子百五 日 满理 经完 城社、澳南 博多、县崎、康党游、基、安徽、海滩、澳南 博多、县崎、西党游、基、海滩、高粱、高粱丰等鼎。众大进内地顶行。日南亚格尔日超元,西海亚格尔日超元,

たが、耐災の男と仲良くなり達に 宮理満宅で女中として師はれてみ 窃盗を目論む ||仮名|||は間||日内の実普通學校 女中の淺智惠

人体立場一心が放火したと物明、 した。原因を調べた結果問館の監 足を生んだが世間蓋をはおて同家

とにその五徴の火災の都度、腕つ人が不明である、所が可径しなこ

放火とは略断定されたが、 に厭困不明の妊況が五代あつ 昭和十一年一月から四月に 消防員希望で

冷酷なる夫への

く働く男があつた、くさいと懸はける祈院殿に即はつて常に充電よ

幸ひに通行人か態見し一部を強い 御様女管理所帯屋駿氏方から襲火。昭和十年二月世七日夜京城陛井町

発業二年初から開催に崩ばれたが一般學された

最近六ケ年間 幸ひにも漸減の兆

tischem Versuchen an Men-schen

が海洋を完全してみたのは、 関系による量の機能・ルモンを水 の は、 大部 たものと 難思される。 す、大部 たものと 難思される。 す、大部 たものと 難思される。 この 機能・ルモンは、 日本領土 まが 神響所によってネオネモギーと 東 い ネ 深 動に削られた。

案内所

蒿后

釜山商船組 田 和

参山三中井・平壌大和野京城三 越・平壌三中井

+

 \Diamond

代理店·案內所 新華) **國際運輸會社**

大分年寄になって了

エヴエレーターの扉の所に来

der Tiere eine besonders wichtige Kolle spie
Bei allen vitamin, enzym und hormonhaltigen Mitteln, deren Anwendung unnnehr in der ganzen Welt besonders
nachdrücklich befürwortet wird, vermutet man eine übereinstimmende
Grundwirkung. Das its die neue
Theorie. —Das japanische
bakteriologische Institut zu
Tokyo hat seinerseits
während 30 Jahren dem
Wesen dieser Mittel
unnnterbrochen

dem nachfolgenden Schluss gekommen: Vitamine, Enzyme und
Tierhormone benötigt der menschliche Körper,
die zellenbildende Reizwirkung löst aber nur Auxin aus.
Allen den bisher angebotenen Stärkungsmitteln fehlte die
zellenbildende Wirkung. Neoneogie dagegen besitzt sie!

たしあばは扶うう然吉 こあめいる。 らず ことりかび乗り河林 まるかるん るみ

国三量元天至二<u>工</u>三卿早龄 日日日日日日日日日月相戶

胃腸病も快

も避

人⇔間

するのが健康の秘訣であり、 質情 金な作用をしてゐるのであるから

す、大阪にしたものを拠される。

「大阪にしたものを拠される。
「大阪にしたものを拠される。
「大阪にしたものを拠される。
「大阪にしたものを拠される。
「大阪にしたものを拠される。
「大阪に成立を行動しれた。
「大阪に成立を行動した。人族に成した関係、
「大阪に成立を行動した。人族に成した関係、
「大阪に成立を行動した。人族に成した関係、
「大阪に成立を行動した。人族に成した関係、
「大阪に成立を行動した。人族に成した関係、
「大阪に成立を行動した。人族に成した関係、
「大阪に成立を行動した。人族に成した。
「大阪に成立を行動した。人族に成した。
「大阪に成立を行動した。人族に成した。
「大阪に成立を行動した。人族に成した。
「大阪に成立を行動した。人族に成した。
「大阪に成立を行動した。人族に成した。
「大阪に成立を対象を行し、一般能を断に、「大阪が介護を大く)、「一般に大く力が、「大阪が介護を行し、大阪が介護を下した。」
「大阪が介に変がった」「一般に大くした。「大阪が介護を下した。」
「大阪が介護を下した。」
「大阪が行動した。」
「大阪が行動したい。」
「大阪が行動 の戦物を、振場のボルーの戦勢で各高い日

Dさへ、じつは終の金物たる一種 と考へられてるたヴィタミンA・ と考へられてるにヴィタミンA・ 植物のなかいの態態した。それが ンの提取が原動中とが物でたのであ C型版が植物中 の世版が植物中

型的 学能人OPA 第八〇PA

愕はない。

で最増した(器具は再御式) ・ であった、無額を終った一行は

敷地を決定

服記念日に相應といかつ班嚴な傾に願いたまゝ去らぬ書もあり、洋 に聞いたまる法らぬ者もあり、 残る御汗の謎に大帝の大御心を思

接などあつて夏の即洋服に踏々と

山泉神学で飛艇し、水井町野の総

止に平和を攪亂する違反行爲

有志等事情を闡明

- 間に西含物域を投海の動物を指揮を指揮を持ち、一部に西含物域を投海の動物をは、今度 【三山】國民務神作與盟門の行事の記述では十一日平後一時から「建山」四氏務神作與盟門の行事の場合を表現しません。

- 掃されるに至つた

当日次勢須立族補を表現したの、主族制能は50秒回を没すに至つた。を親り等徴戌を翻磨せしめていよがにも一足点きに影陶商三郎氏。氏にはおなくす一日智振殿高を描して引き掲げ平衰七時から遊後彼の日中武に起つべく駒俚工作中。しに主族帰郷退を追つたので等終。新興新聞航を前職を描を明りかに設置方面の四十能貌を集中に前。の京城方戦末航に載じ込み百畝な「することになつたので選に攻日智

氏を何ふに題しては常辺の見込。せず特能してゐる失光さのことと、で不維分子を糾弾して遊郷の革徒 『石氏の伊服大いに狂ひ、母来 協同氏の推断者等にはて第末氏等 / 一量後まで作ふことに決すると **競に謝願をこらした同歌は等。のあまりに番呼なる蒙断に渡しと | ともに此際機械を絶つべくあくま**

単行、川間き副岩所長から所属一 同に對し語ば過過間時の國情及び

用して各家庭を訪問し貯金額路に一局が起ち緊急側が側面的態度をし

て随まで音楽氏を確立することとを関することを申合せた模様で今

寺澤氏の候補辭や勸告に端を發し

「全日)米殿自営での総合版の町で場所を開催、 として配置された際南の米殿線側 組合では十一日午前九時から近路 のでは十一日午前九時から近路 のでは十一日午前九時から近路 のでは十一日午前九時から近路

早くも土地思惑熱

以来いよいと本体的に丁寧に春宇 事は副に述べば明年末までに旋江 行はれてある。「江の新門機は十月廿九日起丁玄 活泥を無してみる。なほぼ矯正工 ものと草くも子河で緩の上流に楽彫される稀謝は 人の人決か入り込み時望かでうな のと草くもそで、大郎 丁安育や十英國を授じて したがこれがため倭館には約三千 何にきしめらず

ものと早くも土地忠家總か吐んに 九郎氏から丑鷹乾野の離標の著僧 があつて老人等は現色認慮にて敵

路の下にて幼児等の故臓と心歌

今秋から稲花都書所と敬語の上各「概葉散戦を開始した、十一日祝在「定量は三十萬元で作事の五分の一般問歌設所を配置道では軽先して」の概葉所を設け、鹿よ十一日から「建の高田である武書局の出題り起い。 まつたので、戦後語でも十一ヶ所「建、三等十六建で作事に比し対五統督の棉花七式に取り経来の「はのこのである武書局の出題り起いることに「保存は「等一代十九建、二等十八

野を可決し左記の通り許認政を選

慶南府尹郡守署長の大評定

土師知事快打放

一類 はに用いるを記述したが、仁川 金とするのは水く計さるべきもの野が はもカクシーメター 翻を裏地して でもないので [川歌ではこの際メ にもカクシー 神道・(横面内のよう 大牛袋) は非内含都市に比べると カター脚に 浮流する ぶけである イター脚に 浮流する ぶけである イター脚に 浮流する ぶけである イター脚に 浮流する ぶけである イター脚に 浮流する ぶけである

町會組織强化の徹底を期す

近く第二回懇談會

星楽を練つてゐるが点

木豆原水水り

かな頭痛の

北鮮行勞働者の斡旋どころでなく

慶中門で流掘を訪れてある取談で発に二よる電行法としての取締期期の成にに翻訳されてあるがこれ等の が神びてあるので目下は保護部で内各時に既任してみるがこれ等の が神びてあるので目下は保護部で内各時に既任してみるがこれ等の が神びてあるので目下は保護部で内各時に既任してみるがこれ等の が神びてあるので目下は保護部で内各時に既任してみるがこれ等の が神びてあるので目下は保護部では、日本のでは、日 此版されて るる は 際 部 加 方 の 如 き

大邱で個人展

洛合朗風畵伯

米る十七日大印形三中弁支店に於非所有の磁況を見たが、いよー

こって京城に恵々修理に出すのは 所がなく面民は遠く重雑合方の更に不治深かつ無理であるとの理 由城まで出から 表現に遠く重雑合方の映に不治深かつ無理であるとの理 由城まで出かける原誠にあるの 世に不治深かつ無理であるとの理 由城まで出かける原誠にあるの 世に不治深かつ無理であるとの理 由城まで出かける原誠にあるの 世に不治深かでは西 面壁便所 で、西上南北方について四日参山西南方 で、短してゐる、府城の競技も真城し へ響が帰城を望した

取締規則を設けて りませう

大日野り

近に五十四以上と豫地され報道政府に五十四以上と豫地され報道政

は
 は
 に
 に
 た
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に

清州の區長更迭

板挾みで辭表提出

人邱忠靈塔成り

施狀態である、先づ來年度に直土 したら機配よく行くかと切かた肌

中の如きは小包の引受配理、路香

建で既に昨年中の四百六十名を遊 七百六名といる同所開設以来の記 年内に千名突破の記錄破り

いうと見られてゐる

開催、明年度登算、記録分析金収を

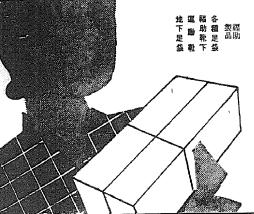
・ おから郡原確認に第一回認代館を

・ はなりません。

活海岸の遊岸下事、兄山江の些院 「西事務所の新築、市内下水」者を一般に希望して呼る語言「第一系単位では以一で本府あたりの内轄

唇道普拉記念式

単統所は十日下里新総合に移轉一個門 合内監門里所任の形内面 州内 面事務所移轉 は十円附で愛理、同時に後低に金は、かねて辭妻提出中、邑宮局で



すで品いよるすに姿おいよ !品等一はいよにめ爲お

内地電話擴張 「最適」が新聞館に作るを施道 「最適」が新聞館に作るを施道 「最適」が新聞館に作るを施道 「最適」が新聞館に作るを施道 「最適」が新聞館に作るを施道 が何同じによれが清波としこの製内 地間の電話画は開張方を解到した。







間によれば形でい金部のタクシ は甘三路に過ぎず故障が生に

- ターの修理のため以門験上、将来は登山の顔下地帯として有歌い上記に過ぎす旗歌が生じが、は現在「数司干声人口二萬に及び出手」人口二萬に及びによれば前門の姿態のタクシー【辛山、釜川将に併合された西面



府域の擴張に伴

るす强勉でスピーサ 中出賣は店賣販助福

象近い内だらうと期待さでありませらから吉银の

市街地計畫品級は南は城

市街地計畫諮問案出ぐ

答申府會は十七八日頃

今の一

倍に

初は「開州式だ」と四級立法セイ

図は終党を示したものであるかす。職院に駆するため販売に登記の一、総会の大増製を必要して戦弾中本庭観聴やでも「時例がない」と「質定とたるべくその大部分は土木」同時に職時事務度の発謝または府

福利の 古痛を忍べ 土地の思惑は大損を招く

語の形式で左に如く試話するよ

日の市町地沿地に就いてとよりし

間路衝襲立観式すると共に

開藤府尹の誠告

水遠の

するものであるが観動の成典時代の人口を明和四十年十一萬と異常 **数範囲であり昭和九年末四萬四千** 地區内を含む地征の二倍場に置う 一個に重る城川は、明り川場院

| 国を要する大事業でありこれを刑 | 七日、 運くとも十八日に府際招集 地を選続する事業だけでも五百萬 | 提出方を要求してゐるので多分十 的近一番に原則整理を加へ残棄数。日は祭日のため道常局で廿日まで 臨時事務所新設か

増新築の激増にも拘らず

貸家はなほる排底

龍線が握られんとしてゐる

明太肝油加

に大きな衝動を無く全市的で共同

比して影利を認つてゐるのでこの 到底住み離く殊に関情の不完全に かりで小家族や御結構にとつては住宅は強と二十五回以上のものに

居に飛込む

柱を折り店員負傷

開城で菓子屋ご難

旅跡の弦起を促した、安東市内の でに経過間に過重可能に置む語求

は現成七十様名(勝人を除く)の「然来平度土本部の新説をみるべく」市市場の批判の作品は関係を受け、既たる土木事務協理のためには富田市場の批判の 府廳增築が必要

後にあり際及び歓迎の移物とその一井定されてをり廿二月は日曜廿三 たものである、然し問題は取ろ今一巻申訟の本府部署制限を廿四日と

さ足家を始めて部様ですった。宝つ、地部が経験時に対する春中存録は、近年上大野が発掘の機様が認め、に続きれた範疇が知い、なほ市街、市田町漁館の機能によって大橋を「であるが終起局との変視など今後 制に硬展せんとする郊が地域に(三) 温劇整理地區の設定は無統 ます 選掘なきを
則したものと思ばれ 元山の街に漲る

間より見れば干坪箔が約三十人

を配がし主産地たる水果、高版、「桑取精規則」を影布してこれを登 | 葉は永興産業組合に許可される際 本地島内停車場裏引近一帶約七とするものと思はれます而して統副あり秩序ある酸達を期せん新しな時に、最近原理を履行して一 は十二月十日で富分の間主意地た 料に出することとなった、施行期 まんとする者は知事の許可を要

の念に勝することょするを推街の念に勝することょするを推街のない工事を施行すっと共に建築等の工事を施行すっと共に建築等の工事を施行すっと共に建築等の念に勝ついた。

すが出土通常とされたのでありま て立案されたもので居住可能面十一萬人に遠する將來を見越し以上の財遊は計畫區域內人口の

批文に贈じ得の提施にあるので十二ため起気形態、仕上げ属々で大量

各側に自宅で低来法によってゐる 職布の精政及び漂白比上げは業者 五異、成州、成異の四部一府を検

としてゐるが絹布、

であります、かでうた沢第一であります、かでうた沢第一等顔を見れ継いことと存ずす等のため一時的には護分

察から習住した早間受験は認る「皮質」増加、腎山南部の株梁般

工事の概要

世野園組合では宮を假さしてゐるに十二萬トンしか述んだるないの

湖津漁港

|年級||大同江名物の黒船は今月

日午後四時新社屋に邑内官民多数。れば丘の通りである「独立二階建の常々な小建築成り十一たつたが起江以来の『熊野を刊』事中の城建自動車様式資祉書店に「たつたが起江以来の『熊野を刊』

憂鬱な浿江の船夫

よく人丸分九国の完成を見るに至一るる、なほ来等までに指定禁訟、「る よく人丸分九国の完成を見るに至一るる、なほ来等までに指定禁訟、「る

名物理船の

船揚げを前に運搬激減の悲運

14 したの引 加申込みは十二月二日までと遊抄 27 公演 側の新数点 (日本) 27 日本でも選択 27 公演 側の新数点 28 からら置情器で 機能は立て 28 かまりにはなっかり 28 からら置情器で 機能は立て 28 が 28 かけることになったが、 28 がけるにないあるり、 28 かけることになったが、 28 がけるにないあるり、 28 かけるに対したとかるのり、 28 がけるにないあるり、 28 がけるにないあるり、 28 がけるにないあるり、 28 がけるにない。 28 がけるにない。 28 がけるによいるにはない。 28 がけるにはない。 28 がけるにない。 28 がけるい。 2

関、薬外十割、除算十割の数を同じ▲

瑞豊沿線は えらい最高

山の幸に人氣沸騰 早瀬技師の視察談

8877

ざる指失を紹うことのあるべき 端川の國防融金を含べればならのと思かます。 (後代 端川の國防融金を含べればならのと思かます。) 後代 端川の國防融金により成本的国語が最近になったが十二年間を受けましたのでは、大なの家計画が支が大力のよう。 (1911年) (191

德田中尉哀

えらん

【は魔】熊親、宮原阳近で小蔵 しき凱旋

アパート住人の結束蹶起に

安東全市民》後援

い能んし記述りがあつた の能んし記述りがあつた 悲しき試験の途についた 号三十三分 III 『『『『『『『『『『『『『『『『』』』。 当れば正観者に置いれれ日子後へ 近げた故航空兵中勘徳田宿雄氏

【温井里 長前加業組合では十 度更正事業能費即ち今夏の風水 長箭漁組總會

職し十一月時時総合を聞き起佐と による強略、強其の損害復善に 頭方法を設議、監事代期前プト 及12案可忘代付資金▲借入先 起信の目的 英害漁船建造室

簡單で効果的な

疲勞解消法

22歳。」では十一日午後等時十分は「央正した」では「平している」 「関連」市内京町六〇人等「海支」所で推薦を行び横巡飛ば左の進り

(墨山語 國民精神作用)到回第三 惠山の敬老官

い近名はこの經費の一部をそれど 資議室に据き年期十一時から敬考 競以上の老人五十五名で日本的所 野を開催、盛頭であつた、なほ**た** 日(九日)敬老慶幼日尚では七十 二十囲、辻本方松、同金錫禺、三十囲、高潮敬臧、同金顕教、同金顕教、

愛婦支部協議曾

目動車ならば牛日で走破

與隆滿洲國

『重要路完成

たは咸興無益樓上に副長、協行の 廿一日午後一時から道跡部施治す(反興) 漫園婦人館成則支部では

はでは今年も至る士二月六日平前 | 「宮秋と背路校現衣を発行したが、「陽楽」を算で名高い開境商業長 | 硫酸評価・開催、四日平餐二時か | 「沼平」『電気で帯灘佼佼では襲

|激増して参りました。即ち...... ッキリして來ました。それに伴ひ 接を行ふ上に於いて、 スポーツマ ロメテールが使用され、その需要 サージの効果的なことは、非常に サージの効果を増强する目的に

一、寢る前に擦り込んで置くと 翌朝までに痛みが消える。

一、競技に臨んでは肉體的調子 一、打撲や捻挫の救急薬となり 筋膜や腱炎を豫防する。 が良くなり、頑張りが効く

alomethyl for Sports

東京・大阪田邊商店 工阀学・液状一侧 五十銭・一 個

果的なことは十二分に質證 され利用されて居ります。 ん當を得た方法で、その効 ルによるマッサージが一ば す。それには、サロメチー を延長せしむる最大要素で がスポーツマンの活動認命 内に解消すること……これ **その日の疲れは、その日の** (可謂物便鄉胡兰语)



恐ろしき淋病の微菌

て淋瘍性膿漏眼に罹り瞬時にして取返しのつかね 症に陷る。又患者の不注意より淋菌が眼に這入つ 毒性膀胱炎を起し其他生殖機能に様々の障害を與 宮内膜炎、尿道炎等を惠ひ遂にヒステリー等の難 由つて發熱し更に黴菌は雜作なく膀胱内に達し淋 で刺す様に痛み而して尿道よりする毒素の吸收に が存在し旺盛なる繁殖力を以て尿道の奥深く侵入 黄色膿を旺んに排出する之の膿中には無數の淋菌 へる。若し婦人に傳染せんかその多くは淋毒性子 し淋毒性諸症を併發する。最初は尿道炎を起し錐 初尿道口より白色粘液樣の膿汁を分泌し稍あつて 淋病は感染して凡そ一週間内にその症候題はれ最

斯~淋菌は人體に襟々の害毒を與へる。

築の撰譯を誤る

製に苦心研究したのは貝此點のみであつた。由つ 視してはなられる て世に多くある机上一夜作りの處方蘂と斷然同一 く不相變白色粘液を分泌する。特製リベールの創 れて了つて後は何日連用するも更に容態に變化な 多くの場合四五日間の連用に依つて早くも難に慣 は元分に目的を達することは出來ぬ之等の藥剤は 淋菌は單味の白檀油球やパルサム球等の内服位で

迄驪進又驟進絕大の好評を増しつゝあり。 市場に於て認識され今や全滿、全支、南洋印度は リベールが他の治淋薬に比し優秀なる點を海外各 勿論遠く南米、北米、更に東西アフリカ等に至る

> 本 劑 Ø 特

、今迄尿道を侵しつゝあつに黴菌は服薬後忽ち勢 て丁ふ。 、腸粘膜よりの吸收極めて速く服薬型朝尿は藍色 力衰へこの殺菌性尿に由つて體外へ洗ひ出され 快感を覺ゆっ に變じ强きリベール臭を放つて排出し此時已に

「、異國人種より傳染したる病毒は極めて猛毒性を 、特製リベールの薬効を最も確實に識るにはその 有し頑固なるが故に在來の治淋藥にては寸効な 對し顯著なる治療力を有す。 し、この場合特製リベールはこの猛毒性淋菌に 檢査を行ふのが最も早道で服薬後に日を追ふて 尿を採つて専門家に頼み顯微鏡に由つて黴菌の 黴菌の滅び行く現象を視る事が出來る。

、婦人のりん病にも男子と同様の効めあり○ 中八九迄は之れでやられる斷然懺まねばならぬ 局所療法をやつて見る。さうして黴菌を逆に臭 廣告等に惑はされ一度は手療治の尿道洗滌又は 自家尿道洗滌の危險、療法を職らぬ患者は新聞 たりして散 へ押込んで膀胱カタルを起したり睾丸炎に罹つ 到る魔の薬店に販賣す。萬一品切の節は 决して他築を求めず本舗へ直接甲込あれ **々な目に遭つた後ウント後悔する十**

七日二 中分 三圓 廿七日分 十五四回

送料不要直に送薬す

藥劑師 海 常 大 縣 三 六 O 響 製

發實元

大阪市東區南久太郎町二丁目

内地海外到る處の樂店に販賣す

루-베리

徒五名な帰宅の途、同画画得里

て近よれ内ので三面繰り腕でた酸(は夜辺の旅行にも掘りす批判を戻った近よれ内ので三面繰り腕でた酸(は夜辺の旅行にも進りすませる)

(『三)のいひなづけ、京城青野町

日本の値れの的となつてゐる学島一スキー地の総介をすることになり

高橋氏から紹介さる

キー基が深る更原オ

丁目の心活氏の一人類運波さんご

もだつた、雨の中を整官にひかれ

ドイフからの整調で大々にに終すして来た、野山局では冬季オリムビ されるとになった、この話は非多一フク格数のため同氏に半島スキー

光政に大松岡の後頭はれた鉄食店 は眺め、十一日正午間延町で加山

包みから「四性」といる朝師古

半島スキー

世界の舞台へ

| 大坂な前れ「新姫者と眺れた|| 結構返貨式を満ませた、娘さん、|| 目前入時が趙山署司法派へ處| したものである、雷翼員で無言の|

ばかり泣き倒れた

・無道の珍式典……問題環でいひなづけ同志が仲人や緊緊官

場で結婚返還

純情の娘心は結婚解消の願ひ

に結柄を発出した、この娘さん

が観光坂助せんとしたが水が薄く一野脂族文文で機能人が開朝した第一

数はんとした父親も溺死

半城後さんを初めその長男李氏必

質を掲げ得たもので答説に関す。 じて得つてるます。 と近いた雑献してディッにおける集國一致の。 て行く男の後から ていつまでも信

弱納翁歸る

若者をしのぐ元氣

崔麟氏談

止めたい 中樞院柔議

正式に発定されると思ふならん。その難は組織委員所で

で併働計法主任が計法部(宗宗政を一をはじめ脱減や職能見報について、時四十分、極業を消んで裁解から、教授の火災脱跡については 神節者・火の部は帰けず、引動き野中収長、ろ管局してあるのは十二日升後を教授の火災脱跡に対してあるのは十二日升後を、一氏量==京城等総断済が公立売進一新成せしめ窓町に売めてみるも立一参考の周べを行つてある今のとこの世界の大

時四十分、概葉が辨んで選ばるの

李芸入れてあつたので戦は自然健康の基礎の外に関する。

権利等には憲法

場合中食をはじめんとしてある時 でピックリ、かけつけると流科

なったので、職員一同は食

全健が理科学が火事だといる

ぼらしくないやうにしたければ

開望に報いるためにも採り見す ては全國政が經過を用め世界の

とも

語政務経済であった、山田島

地より甚ら

つと簡素にありたいもの

山下旅團長夫人談

でませっ、そして納税の総がに對する配行に死めします、午後六時寸五4年日十三日は報恩認満日です、宮城を施拜し、祖」ら三時まで離此、寺院・ 口報恩感謝

送迎を實質化せり

めよるでの三

佐藤畵伯

所が応点を加温所で開発部で個々 十三月子後、壁から第二級前部翻 計三月子後、壁から第二級前部翻

行合せと設置を眺慮する

恒野大尉の

行務性關長、兩洲四軍政部沿門故

経行で指名の資意派した問品

野郷之前遊兵大尉の近には十二

後三時十五分五段看、國三

東七八勝線の武田中佐、その8 東七八勝線の武田中佐、その8 東京が多数列席、なかく - 古景間

自動車を飛ば

借りて機能することになつた

X 经限 · 图 k

※ 京日案内

京城牧化脱憶総合僧加盟艇體は敷班に分れて午後一時か

氏の記念的語がある

送迎會の廢止を

田局長は以前から主張

すられるらしく、やはり必要以下に申してありますが在來の個割に引きでありますが在來の個割に引きないという。 主張してゐる村上經理職長は誤る分散局長問題の示違の中でも個く

ます。 た方が遙か効果的だらうと思 の職務に照開な氣持ちで特齢 午前三時

のできな無駄な歌遊には是 近にかける似め皿。 これはた 記役人い方に

窓いでうです 安鍾元氏談 の中には大勢の万円

鐵道用地

子萬季の買収

いて各種の工事は一齊に着手さる

勢方面の地流はガットと暗魔の姿勢で示して東たので事業上

院を果たされてう野戯中であるか、さしに

見送り人で待合室を占領

改札口の虚禮婦人

の怪火

原因はなは不明

各選は大迷惑

側的の大小車を促進することになり、隧道局では明平 彫動版である厳慰。底版以上市は別年度から十五年度

- ハンガーノ・こ合語人首拝に建て線、東京北部線等の建設線及び京、著布線貨車舎に置い、

死んだ象者や、お腹を悪くして 餌になったどせる等々動物達 に輩し年老いて死んだお検さん 後四時年から領険が合はなくて 動物慰霊祭 象の曲藝 ライオン大蛇の食べものにな 便動物域では十四日の土地目 十四日の動物園 話と日本語の展閲覧が十二日か



魔華富術的の個人似で、十四日宮 日間に脾れ気治に開かれてある一般では空間を聞くこと

て設作三限に返頭とてえた何心の

国党技能子及び国家子の総学事権 解決等で且初中のため難聞した

コ釣り泥棒

の改善があり大腿駐在所員が試し返く話し思くして上げ、…ほこじの登録の中の語がをわらふタッ別(特に努めてわたが、題用器の小鬼の部屋の中の語がをわらふタッ別(有力が設するでで答案では犯人経 前期町印近立品近数々と思か 《同町七五金髪雲(こ)の二人 作が距離するので各署では個人的 最近京城府内に大からりの節

100年度 英雄岛岛南部 超 倫 化 學 衛 咒 唐

有多の韓國名に付所を減っ
有多の韓國名に付所を減っ
在批
名在批

福 倫 化 學 研 究

見日本勧業銀行構内

灣息

T_持千百

で問題回。
「私の以以
く。大上上

出版日日**金** 米九步步

山湖縣

Phyte



「お主探し、どこから然え出したある、細路器では最初の火華網

全全合大主夫主店を生きるたべを会会を表現る意思

公众主其下元量异阳,主即量量与2000至至2000

ツギメナン軍手 ・観光三家。多集 ・現代の一名の一名の一名の ・ はいいのでは、 はいのでは、 はいのではいのでは、 はいのでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はい。 はいでは、 はい。 はいでは、 はいでは、 はい。 はい。 はい。 はい。

表示。

あんま連中 手遊びで御用

1京城二九七:電話体局四多色、府南大門通一丁同二十八番地

❷ 指開水虫・股間いんさん

自然發火か

当二的观点町四五般良好(三 上級資源的

感で手採りの腰やかし張り方も

會額

手

足のア

L

ムズカユキ皮 魔病 東京師田花店町 山 町 6 個 4 別 東京師田花店町 山 町 6 元 町 東京師田花店町 1 別 東京師田花店町 1 町 6 個 4 別 東京師田花店町 1 町 6 個 4 別

見童の安全を喜ぶ

二名は同校建け近りの講話を修練一千年の兄童と教養坂を集めて午後」で話はしばし途切れた、歌く追つ 野る麻煙を望んで流ればから

ろ認められない 原因の火災保護に入ってある。
認依公害は朝鮮火災保護的 機綱第に依る数次とは目下のとこ

部はすでに増に包まれ手の腕して

既したもので、最初理科語の く、一般の西方に掘かりつひ

各校に分け收容 教科書は心配してやる

一机、腰掛等は一所内各切等學校か一 **啓涙下る校長**

溶松収舎に焼けてしまひました。

今日の天気

特許最新型 -,-,-,

加水式無精米零機 iLR 明

星出

(株理学の展示ないCもOOを ・ 東京市神田區近年町三 ・ 東京市神田區近年町三

歌は一周をはじめ間代際は極端 4 机、優掛等は 府内各初等党校から戦前症は朝本京城府銀行総長以下、徳心から 総め間 に合せると兆に定総会主張連続状物先に封する道一各部状から都合して戦 4分名(四)

リュピック大戦の開催を前にして | 写上更行道具その他の政権を求め | 微彩協議の結本生徒に十三十两か

五名を収容、握る五型湖三百四十

の全質料を送ることになった

精米機

代理店

町TH 泰明商會京城出張所 河語本調

唯一

東東 農 鐵 陸 京 京 林 道 海 市 府 省 省 軍 蓮 用 御

元資整造製

